

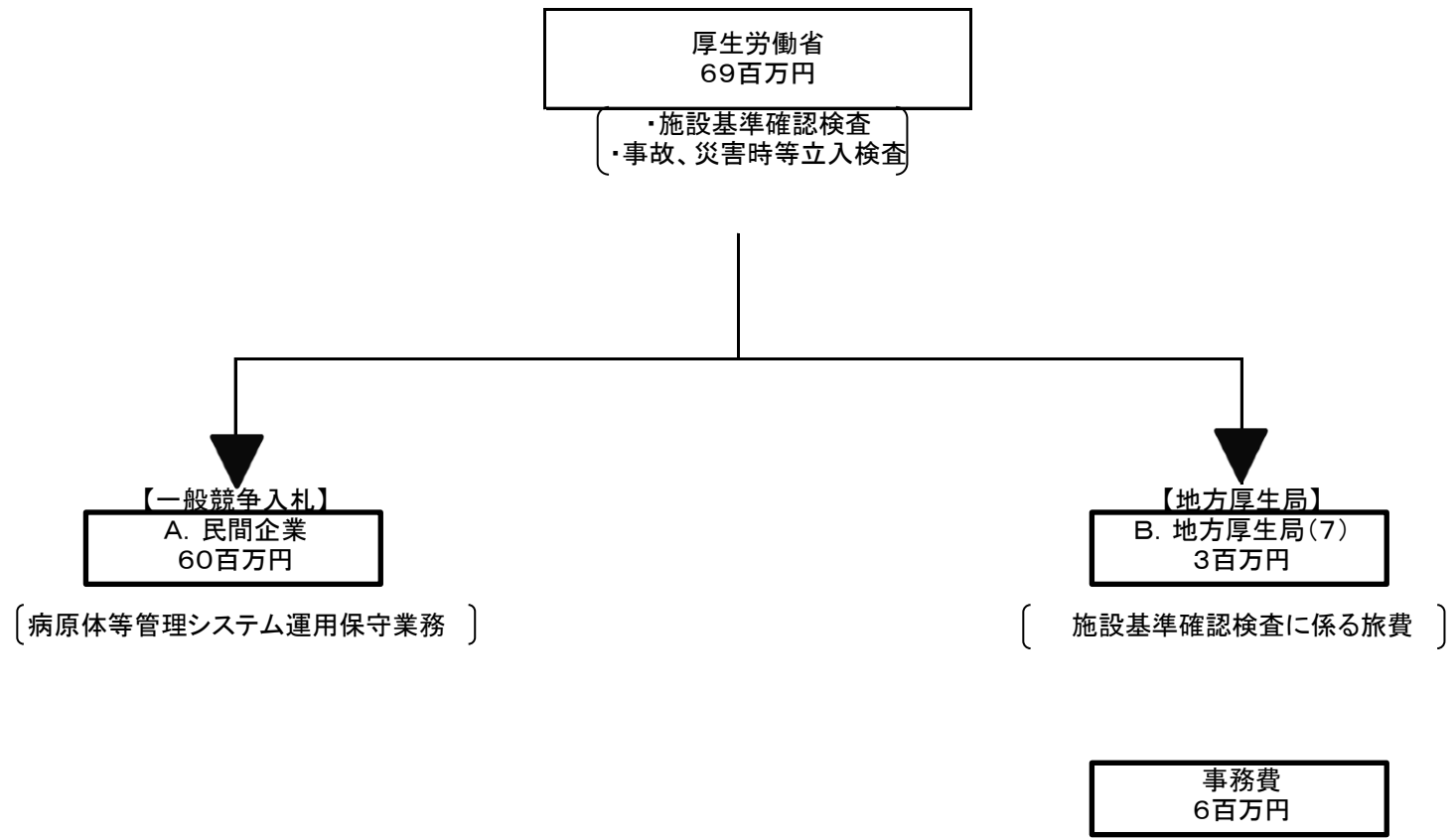
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	病原体等管理体制整備事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	結核感染症課		結核感染症課 正林督章		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第56条の3から第56条の38		関係する計画、通知等	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律等の施行について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定病原体等の管理規制については、病原体によるテロを防止する観点を中心として導入されたものであり、それまで病原体等の管理が研究者等の自主性に委ねられており、適正な管理体制が必ずしも確立されていない状況にあった。生物テロに使用されるおそれのある病原体等の管理の強化が重要な課題であることから、所持、輸入等の禁止、許可、届出、基準の遵守等の規制を設け、生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止する対策の強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>二種病原体等許可申請業務、三種病原体等届出業務</li> <li>特定病原体等取扱施設に対する定期的な立入検査業務及び特別な立入検査業務</li> <li>特定病原体等の盗取等又は感染事故等に対する対応</li> <li>運搬業者を対象とした、病原体等管理についての知識を有する者を養成するための講習会の開催</li> </ul>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	77	75	72	80	61	
		補正予算						
		繰越し等						
	計		77	75	72	80	61	
	執行額		76	68	69			
執行率(%)		98.70	90.67	95.83				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	病原体管理の規制を設け、生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止することを目標とする		成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	病原体管理の規制の対象となるウイルスの種類		活動実績 (当初見込み)	種類	73 71	73 73	73 (73)	— (73)
単位当たりコスト	819,863 (円/種類)		算出根拠	平成24年度病原体等管理システム経費をシステムへ登録するウイルスの種類数で除して算出。 単位あたりのコスト=59,850,000円/73種類				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	雑役務費	69	50	システム更改経費の減				
	職員旅費	5	5					
	人件費	4	4					
	物品購入費	1	1					
	その他	1	1					
	計	80	61					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するために必要な病原体等管理は重要であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症の発生・まん延を防止するためには、広域的な対応が必要であり、また、病原体によるテロ防止の観点から。国が直接、適切かつ迅速に実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	病原体等管理システム運用保守費については、一般競争入札により契約しており、競争性は確保されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	感染症の発生・まん延を防止するために必要な病原体等の管理を実施するために真に必要な経費としている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>24年度のシステム運用保守契約については、事業の効率化の観点から、一般競争入札にて業者を選定しており、引き続き事業の効率化、有効性について検討した上で、病原体等管理システムによる病原体等の管理体制の構築により、生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止する対策の強化を図っていく必要がある。</p> <p>なお、当該システムにおいて取り扱う病原体所持者に関する情報は、特別管理秘密として大臣に指定されているのものであり、セキュリティ対策の強化が求められている。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	生物テロに使用される恐れのある病原体等の管理体制を強化し、人為的な感染症の発生・まん延防止を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	146	平成23年	124	平成24年	99

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位: 百万円)

A.東芝ソリューション(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	病原体等管理システム運用・保守業務一式	60			
計		60	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東芝ソリューション(株)	病原体等管理システム運用保守業務	60	1	98
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.地方厚生局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿厚生局	施設基準確認検査等旅費	0.84		
2	関東信越厚生局	施設基準確認検査等旅費	0.51		
3	九州厚生局	施設基準確認検査等旅費	0.4		
4	中国四国厚生局	施設基準確認検査等旅費	0.35		
5	東海北陸厚生局	施設基準確認検査等旅費	0.17		
6	東北厚生局	施設基準確認検査等旅費	0.13		
7	北海道厚生局	施設基準確認検査等旅費	0.13		
8					
9					
10					